

木童 東京支店 (平成 28 年 11 月より移転)

東京都新宿区西新宿 7-7-26 ワコーレ新宿第一ビル 408  
TEL: 03-5937-5069 FAX: 03-5937-5079  
E-mail: [tokyo@kodoh.co.jp](mailto:tokyo@kodoh.co.jp)

木童 神戸本社

兵庫県神戸市北区大沢町 437  
TEL: 078-954-0072 FAX: 078-954-0257  
E-mail: [muku@kodoh.co.jp](mailto:muku@kodoh.co.jp)

## ★秋田紀行

木童の人気の広葉樹の壁床材などを生産して頂いている、秋田県角館にある協力工場に見学に行ってきました。クルミ、クリ、山桜、朴、いたやかえで、アサダ、ブナ、などなど…、他にも木童のカタログには載っていない樹種もたくさんあります。広葉樹は、大きな原木がたくさん採れるわけではなく、また太くて真っ直ぐな原木でもないために歩留りも悪く、半分ぐらいは板材としては使えないものとなってしまいます。そして捻じれて育った原木などは、乾燥や製材に高度な技術を要します。それ故に、杉などと比べてどうしても価格が高くなってしまいうる広葉樹ですが、日本の広葉樹の独特な風合いは、他には代え難いものとなっています。



▲土場に並ぶ多種多様な広葉樹の丸太&積みこまれた原板。協力工場の中でも樹種の豊富さでは一、二を争います。



▲5種の広葉樹を貼った建具

同じ秋田でも少し離れた能代まで足を延ばし、天然秋田杉の板材を生産する工場にも見学に行ってきました。天然秋田杉の中空・柂目の天井板などは、どれも立派で素晴らしいものでした。こちらの工場では、円筒形LVLも生産されています。薄く桂剥きされた杉を、同じ繊維方向に貼り合わせていくことで長さ方向の強度を確保できます。大きな施設などの柱や梁に利用でき、木材利用の可能性が広がります。



すらりと並んだ天井板  
巾 300mm~



円筒形 LVL の制作機械



## ☆番外編☆

せっかく能代に来たので、天然秋田杉を贅沢に使って建てられた、有形文化財の旧料亭「金勇」見学に行きました。天然秋田杉全面空四畳半仕切格天井や、長さ9.5mの耳付き一枚ものの天井板は圧巻でした。



部屋の端-端まで継目なし、全長 9.5m の天井板!

## ★塗料カタログ製作中

床の仕上げに最適な「桐油」、木はもちろん異素材や他の塗料とも相性の良い「超・撥水」、日本古来の自然塗料を低臭・速乾タイプに仕上げた「柿渋」、そしてチラシのままなかなかご案内しきれない内装用の着色塗料「和色」まで、4種の木童オリジナル塗料の情報を一つにまとめた塗料カタログを製作中です。

無垢の木を扱うときに必ず気になる仕上げのこと、用途に応じてご提案させていただきます。サンプル依頼も大歓迎。塗装の方法やメンテナンスについてもどんどんお問合せ下さいませ。

※カタログは 10 月初旬に完成予定です。



## ★家づくり現場レポート① K邸/宝塚市 設計：TERRAIN architects

宝塚の高台に建つK邸は、接道と敷地の高低差があるため、玄関をはじめLDKが2階で、1階が寝室などのプライベート空間、そしてそれぞれ切り開けた南面に大きく開口を設けた解放感ある住まい。床は相生杉の30mm、やっぱり床は良いもの使いたいという住まい手さんの要望から、当初の予定よりもぐんとグレードアップ! 外壁は、実際に使用して頂いた住まい手さんの建物を一軒一軒見て回って決めたこだわりの焼杉板、デッキ板は杉の赤身だけを選別した厚み38mmの特注品。完成してみれば、構造材から仕上げの床材まですべてが杉! という過去最高にモダンな杉ハウスとなりました。



外壁: 焼杉



床: 相生杉



ポイント

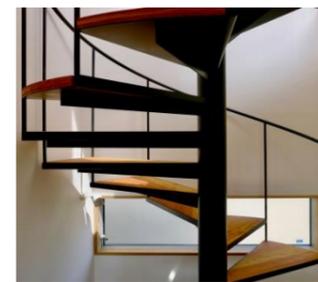
階段は、床の相生杉(厚30mm)をそのまま転用することで賢くコストダウン。

## ★家づくり現場レポート② K邸/葉山町 設計：森ヒロシ建築設計所

葉山御用邸の側に建つK邸は木造二階建てにペントハウスという物件です。家の中心部に螺旋階段を通してペントハウスまで行ける階段と、中二階の様な空間へと繋ぐ階段をからパネルでプレカットして納品しました。外壁にはお馴染みの焼杉を張って、潮風対策もしています。初めて螺旋階段のプレカットの経験をしたのですが、型取り等何回も現場に通い寸法のチェックを行いました。完成したK邸は、天井から降りる光が階段を通して家全体を明るく照らし、温かい空間を演出していました。



段板: からパネル



## ★家づくり現場レポート③ 代田の長屋 設計：Studio PRANA

木造二階建て、一階がオーナーさんの住居、二階が賃貸住居の2戸の長屋です。二階にご入居予定の住まい手さんが、アレルギー体質の為、様々な樹種を試したところ、木童のやまとならが平気だったとの事で90mm巾を採用して頂きました。床だけでなく、机、下駄箱の造作もすべてやまとなら。職人さんの素晴らしい技術に感動です。

今では少なくなってきている伝統構法で、土壁、しっくい壁、すべて手刻みというこだわりよう。昔ながらの魅力あふれ、温かみのあるお家となりました。



水廻りも同じ仕上げで統一。塗装をしっかりとすれば無垢材+植物油でもOK。※写真は無塗装。



床材を転用して造作した下駄箱



## KODOH NEWS

■ 10月初旬、東京支店リニューアル予定です。詳しくは木童通信 Vol.69 にてご案内致します。お楽しみに☆

■ 10/21(土)・11/11(土)は東京支店で無料住宅相談会を行います。※予約制となりますのでメールかFAXにてお申込み下さい。

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。